

こんにちは!!
市長です

Vol.43

「記念樹」

卒業、成人など人生の節目に記念樹を植えたことのある人は多いのではないのでしょうか。私の家にも、今から70年以上前、母親が嫁いだ時に実家から持ってきたという「シヤクヤク」があります。小低木ですが、毎年5月にピンク色の見事な花を咲かせます。コロナ禍で気のふさぐ日々が続いています。新緑の芽吹きや色とりどりの花を見ると心が癒やされます。

昨年5月、第74回の県植樹祭が、市赤城総合運動自然公園で開催される予定でしたが、コロナの感染拡大で延期になりました。

合併後では、平成24年に市総合公園で開催されて以来、2度目となります。森林に対する愛情を培う目的の植樹祭ですが、近年では、地球温暖化対策や脱炭素社会実現に向けて、その役割が重要になっています。

渋川市は、面積の約54割が森林です。私たちの生活を守り、豊かにしてくれる森林の大切さをこの機会に再認識したいものです。

延期となつている渋川市での県植樹祭は、今年の秋に開催される予定です。コロナが収束に向かい、無事開催できるように、心から祈っています。

5月16日、市役所第二庁舎で、記念樹を配付しました。子どもが生まれた家庭や住宅を新築した家庭にハナミズキ、モクレン、ミカン、ユズなどたくさん種類の苗木の中から、希望のものを選んでもらいました。

誰にも、記念樹や思い出の木があると思います。入学、



▶誕生の記念樹を手渡しました